

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	車両管理事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	総務部	課等名	地域づくり・庶務課		包含する細々目	1	2	1	4	10	1	
政策	9 市民と共に進める行政経営											
施策	93 良質な行政サービスの提供											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等							
		事業期間		年度～		年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	公用車	台数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			413			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	整備の良い状態に維持する	直営整備台数	18目標	228	最終目標	
			18実績	228	19目標	228
			23目標		23実績	
			18目標		最終目標	
			18実績		19目標	
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	公用車等管理費 <参考>細々目名: 車両管理費 1 公用車の管理 集中管理車両を中心に次の支出 ・保険料 ・燃料費 ・修繕費 ・その他 2 公用車の庁内貸出 集中管理車両、マイクロバス	車両管理 1 直営車両整備工場の運営 ・整備要員1名 ・6か月、12か月点検の実施 ・通常の保守 2 庁用車の集中管理 ・一般車 28台、マイクロバス3台の管理、庁内貸出 ・燃料、保険料、修繕費等の支出	車両整備台数	228台
		車両管理 1 直営車両整備工場の運営 ・整備要員1名 ・6か月、12か月点検の実施 ・通常の保守 2 庁用車の集中管理 ・一般車 28台、マイクロバス2台の管理、庁内貸出 ・燃料、保険料、修繕費等の支出	車両整備台数	228台

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	0	0
一般財源	19,343	22,453	
事業費計(A)	19,343	22,453	
人件費	正規職員所要時間	18年度 100	19年度 100
	臨時職員等所要時間	4,000	4,000
	人件費計(B)	4,658	4,658
	トータルコストA+B	24,001	27,111

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	市役所の行うサービスが的確に提供される。	市役所が提供するサービスに満足している市民の割合(%)	現状値	61.6	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	75
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 昭和30年代から車両整備事業を行っている。整備車両が多く整備するメリットがあった。	事業を取り巻く状況の変化 なし。	事業に対する市民や議会の意見 特にない。
--	---------------------	-------------------------

**【See】18年度の振り返り**

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 各課が良好な市民サービスを果たすための基礎的な事業となる。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がない (その理由) 1人で整備を行っており、整備可能な台数にも限界がある。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 都市計画上、制限のある建物であり、庁舎建て替えの際は、事業廃止の可能性も高い。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 車両整備が本務である。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 市の車である。		効率的に、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 可能 (その理由) 公用車の集中管理への移行により経費削減は可能と考えている。
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 受益者は市役所であり、事業費は市が負担する。

**【Plan】改革改善**

<b>今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

**【補足事項環境側面】**

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	2- その他、必要が生じたとき
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

**【指摘事項】**

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	